

# 決議

## ウクライナ侵略に断固抗議し ロシア軍の即時撤退を求める

### 《決議の内容》

ロシアが2月24日にウクライナを侵略し、首都キエフ（キーウ）を含む全土への爆撃を開始しており、民間人2000人以上が犠牲になっている。加えてプーチン大統領は、ロシアに通常兵器が使用された場合の核先制使用にまで言及していることは極めて重大な事態と言わざるを得ない。

今回のロシアによる侵略は、「主権の尊重」、「領土の保全」、「武力行使の禁止」を義務づけた国連憲章と国際法に対する重大な違反行為であり、世界平和を脅かす犯罪行為である。

ましてや広島、長崎への原爆投下が、いかに悲惨な結果を人類にもたらしたかを知りながら、核兵器の使用を公言し、国際社会を脅かす行為は、現在の国際社会では断じて容認されるこ

とではない。

栗原市議会はここに、ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議し、侵略戦争の即時中止とロシア軍の無条件完全撤退、核兵器の先制使用を断じて行わないよう強く要求する。

また、日本政府においては、在留邦人の安全確保に万全を尽くすとともに、国際社会と連携して人道支援を促進し、ロシア政府などに対する制裁措置を含む厳格かつ有効な対応をとり、今後、同様の事案が発生しないよう、国連を中心とした国際秩序の再構築に取り組みことを求める。

以上決議する。

### ひとくちメモ

決議とは、議会の意思を対外的に表明するためになされる議決をいいます。

## 意見書

2月定例議会では次の意見書が提出され、審議の結果全員賛成で可決し、衆参両院議長をはじめ関係大臣に提出し、その実現を要請しました。（要約して掲載）

### 「政策に関する意見書」

政府は現在、水田活用の直接支払交付金を含む米政策の見直しを行っている。

市は、主食用米の生産調整に自ら取り組み、その地域の特徴や気候に合った作物を選択し、作付転換を行い、主食用米の需給安定と生産者の経営安定、地域の農業生産基盤の強化に努めてきた。

交付金の急激な見直しは、主食用米の需給や、転換作物の需給にも影響を及ぼし、営農計画などの大きな変更も迫られ、水田、畜産経営への影響は計り知れない。これまで農業者は水田の多面的機能を維持し、豪雨

時にはガムの機能を担うなど、地域においても大きな役割を果たしており、国防・減災の一端を担っているものでもある。今回の見直しにより、離農が増加し、農家戸数の減少、地域の崩壊に繋がりがかねない。また、交付金の対象とならない水田の発生で、今後の農地集積が進まず、耕作放棄地の増大に繋がりが、安定的な食料供給をも脅かしかねない。

政府においては生産現場の実情などを踏まえた米政策を推進し、地域農業振興の強化で国民の食料や国土を守ることを望むため、次の対策を強く求める。

- ① 直接支払交付金のルール設定は、生産現場の意見を反映すること。
- ② 耕作放棄地の増加は下流域の用水に影響を及ぼすことなどが懸念されるため、交付対象水田の見直しは行わないこと。
- ③ 多年生牧草の交付単価を3万5000円に戻し、自給率を向上させること。
- ④ 飼料用米などでの複数年契約加算について、従前の1万2000円に戻し、今後も継続すること。
- ⑤ 高収益作物畑地化支援で、その他作物を作付けた場合は10万5000円に引き下げるとしているが、品目問わず17万5000円に戻すこと。
- ⑥ 米の需要は年間10万トンの減少するとされている。転作作物の面積に必要な産地交付金を確保すること。
- ⑦ 収入減少影響緩和対策の加入要件見直しは、6月申請時点の収量を確定することは不可能であり、生産の目安を基にした面積換算値を上限にすること。
- ⑧ 米の生産調整は国の責任において行うこと。

### 提出先

- 衆議院議長
- 参議院議長
- 内閣総理大臣
- 農林水産大臣
- 財務大臣

## 地元食のススメ

料理教室を通じて、「地元食」の魅力を伝える活動をしています。郷土料理はもちろん、煮物や和え物など普段の暮らしの中で作られてきた料理、さらには季節の果物や野菜を使ったお菓子やパン教室です。

先日は、干し大根を作る教室を開催。拍子切りにした大根を稲わらで編みます。簡単ですが、慣れない手の平はなかなかわらをつかむことは難しかったようです。

いちごのお菓子、ケールを使ったカレールー教室なども。栗原の食材のおいしさと、それを高める工夫や技、そして手づくりする楽しさを伝えられるよう心がけています。作る人も、それを食べた人も笑顔になれる料理。「おうち時間」の楽しみ方のひとつに「地元食」作りを加えてみませんか。



たかはし ゆきよ  
**高橋 幸代さん**  
(一迫)

# 私もひとこと



かどわき ひでき  
**門脇 英樹さん**  
(瀬峰)

## 仮面の囁き

これまで瀬峰に住んではいたものの、登米での勤務が長く栗原の事は詳しくありませんでした。もしかしたら栗駒山を指させと言われてもさせなかったかもしれません。しかし、1年ほど前から栗原での活動が多くなり、栗原の自然、文化、そして人。改めて栗原の良さを実感しています。

現在、登米市の登米コミュニティエフエムさんから、非公認の形でマスクド767という謎のマスクマンとしてイベントなどに出演させていただいておりますが、栗原でもFMに関する動きを時折耳にします。SNSならびに栗原の魅力や情報の発信、今後の動向を大いに楽しみにしております。(栗駒山が見える場所で撮影。あじへの天気でしたがバッチリ指さしていますよ。)

## あとがき

令和4年度当初予算審議の議会が開かれ活発な議論が展開されました。また追加議案の地域通貨導入事業には修正案の動議が出され可決されました。詳しくは6ページをご覧ください。

開会中の2月24日にロシアがウクライナに侵略し子どもを含む多くの市民の命が奪われています。どのような理由でも戦争はダメです。核の使用を公言するなど断じて許せません。議会ではロシアのウクライナ侵略に抗議する決議を全会一致で可決しました。

### 発行責任者

小野 久一

### 広報編集調査特別委員会

- |       |       |
|-------|-------|
| 委員 長  | 藤 千昭  |
| 委員 長  | 三 塚 東 |
| 副委員 長 | 菅 原 紀 |
| 委員    | 菅 原 幸 |
| 委員    | 鹿 野 幸 |
| 委員    | 澤 邊 浩 |
| 委員    | 小 野 一 |
| 委員    | 菊 地 志 |
| 委員    | 佐 藤 悟 |
| 委員    | 三 浦 浩 |
| 委員    | 菅 原 喜 |

